



卵巣がんにおける

個別化医療の発展を目指して！

AI医療ナビゲーションシステムの開発

クラウドファンディングにて寄付募集中

広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 講師の古宇家正(こういえまさ)と申します。私は現在「婦人科腫瘍」を専門分野としています。

卵巣は女性ホルモンや排卵などにかかわる臓器で、「卵巣がん」などの病気は、妊娠・出産といった女性のライフプランへも直結するため、的確な診断や治療の向上など、さらなる改善が切望されています。

卵巣がんは進行してから見つかることも多いため、女性生殖器の悪性腫瘍(がん)の中で、最も生存率が低い病気です。将来、患者さんの生存率を高めるためには、一人ひとりに応じて最適な治療法を提案する「個別化医療」も欠かせません。

今回のクラウドファンディングでいただくご寄附をもとに、卵巣がんの個別化医療を目指して、CTやMRIといった医療画像から“がんの性格”(=がんの特徴を把握でき、治療の方針を決めるにあたって有用な情報)を説明できる、新たな人工知能(AI)診断・治療予測システムの構築を進めます。皆さまのご寄附と応援を、よろしくお願いいたします。

クラウドファンディング(寄付)募集概要

最終目標金額：600万円

(第一目標金額：200万円)

寄付募集期間：3月31日(木) 23時まで

網羅的遺伝子発現解析費、組織解析のための費用としてご寄附と応援をお願いしております。

※本プロジェクトはAll or Nothing方式です。終了日までに目標金額が集まった場合、支援金を受け取れます。

本プロジェクトへのご寄附は、税制優遇の対象となります。詳細は右のQRコードまたはURLから特設サイトをご覧ください。



「卵巣がん：診断と治療を支えたい！  
AIを用いた新規予測システムの開発」

<https://readyfor.jp/projects/ransouganaisystem>

卵巣がん 新規予測システム レディーフォー



お問い合わせ先

・プロジェクト担当：古宇 家正  
・E-MAIL：aisystem2022@hiroshima-u.ac.jp